

漢代骨簽の新資料

小西優輝

はじめに

第一節 骨簽の用途

第二節 骨簽の分類

第三節 新資料リスト及び釈文について

はじめに

ここで紹介するのは新資料の骨簽402点である。本稿では文字を隸定し骨簽のリストを作成した。骨簽書法の基礎研究は劉慶柱・小原俊樹編著の『漢長安城 骨簽書法』(木耳社 二〇〇四年)があるので参照されたい。

第一節 骨簽の用途

発掘報告によると一九八五年に西安市未央宮三号建築遺跡より六万件を超える骨簽が出土した。その内、文字が刻された骨簽は五・七万件に及ぶ。骨簽の用途は内田宏美氏の「漢長安城出土の骨簽に関する一考察」(『中国考古学 第一〇号』二〇一〇年)により弩弓に取り付ける弓弭の役割を果たしていたという説が有力であろう。骨簽とは射撃具の一種で、骨簽は弓弭と呼ばれる弩弓の一部であると考えられている。骨簽は動物の骨(主に牛骨)で製造されたものである。形、大きさは基本的にはどれも同じである。欠損の無い骨簽は、一般に長さ5〜7センチメートル、幅2〜3センチメートル、厚さ0.2〜0.4センチメートルである。骨簽の上部は半円弧形を成し、下部は比較的尖っている。裏側には鋸の歯の様な痕があり、表側の上部は文字を刻すために平らに磨き加工してある。この平面は一般に幅1〜2センチメートル、長さ3〜4センチメートルで、文字がその平面に刻まれている(図1)。骨簽は平

らかに加工された面から外側に向かうにつれ鋸の歯の様な痕があり傾斜し薄くなつてゆく。比較的厚みがあるがもう片方の側面は中程に一つ或いは二つ半月状の溝があり、比較的薄い。骨簽は二つ一セットで用いられていたため、それぞれ形も図版(図1)のように左右対称の形をしている。つまり弩の両端に各二個ずつ使われ、一つの弩で四つの骨簽が使われていたこととなる。

第二節 骨簽の分類

骨簽は二種類に分類される。略してA類とB類と呼んでおく。A類の骨簽は文字が比較的多く、二行或いは何行にもわたって文章が刻まれており、溝が左にあり、鋸状の痕は右にある。B類は一行或いは二行文章が刻まれているだけで、文字が比較的少なく、溝が右にあり、鋸の歯の様な痕は左にある。文字の内容から見れば、A類とB類との実際の区別は字形・字体と記述と内容の違いにある。この二種は背面を合わせて半月部分で縛られていた。A類は年代、工官、各級、或いは工匠の名称が記載されている。欠損の少ない骨簽から見ると、一般に二行〜四行から成り、字数は少ないもので十字あまり、多いもので三、四十字とまちまちである。B類は、多くが数量、名称、規格などを記載。この類の骨簽は一行からなり、字数は少ないもので二、三字、多いもので六、七字である。分類の基準は二つある。その一つは、文字の多少、その二は鋸の歯の様な痕と溝の位置である。

表を作成するにあたりA類とB類の骨簽は各々異なった次の(1)〜(7)と、(1)〜(5)の小類に分けられる。便宜上B類↓A類の順に表を作成した。

B類 兵器の名称、数量の類

(1)「服」の類

(9点)

(2) 力八石 (53件)

(3) 力八石及び「力」「石」が落丁しているもの (22件)

(4) 甲、乙、丙、丁類、代替番号甲、乙、丙、丁 (41件)

(5) 「第」の類 (25件)

(6) 数字の類 (66件)

(7) 文字の無い類 (18件)

A類 工官の類

(1) 南陽工官の類 (45件)

(2) 潁川工官の類 (29件)

(3) 河南工官の類 (18件)

(4) 工官の名称が落丁しているもの (66件)

(5) 文字が無い或いははっきりしないもの (10件)

A、B類を合計すると、12小類、402件となる。

A類の骨簽は全て年代が記載されているが、年号のある「有紀年有年号」類(A)と、無い「有紀年無年号」類(Ab)がある。年号の見られるものは、太始(前96)前93)より甘露(前53)前50)までで、計十種の年号がある。太始(前96)前93)、征和(前92)前89)、始元(前86)前81)、元鳳(前80)前75)、本始(前73)前70)、地節(前69)前66)、元康(前65)前62)、神爵(前61)前58)、五鳳(前57)前54)、甘露(前53)前50)

骨簽が製造された年代は武帝後期、昭帝、宣帝の三代にわたるが、その中で元平(前74)の年号は見当たらない。宣帝が前74年に即位したことによって、元平の年号が一年も使用されず、時間的に非常に短かったことが理由であると考えられる。新資料の骨簽の中で最も早い年号は太始年(前96)前92)であり(新資料リスト及び積文No.235)、骨簽にみられる年号のうち最も早い年号の使用例のひとつである。年代があり年号の無い「有紀年無年号」(Ab)類の骨簽は、もし年号が欠損しているのでなければ、この種の骨簽の年代は必ず武帝の元鼎四年(前113)よりも早いはずである。管見の限り骨簽に年号が無く年代のみ記載されている「有紀年無年号」(Ab)類は、最も早くて文帝晚期、後元年間にあたりと考えられている。

B類の骨簽の内容には「力八石」或いは「力六石」と見える。漢代の弩機の強度は「石」である。「服」類の骨簽の「服」は「箠」と音が通じ、矢を入れる為の入れ物を指す。大弓の強度の違いによって、矢も同じものが使われるとは限らない。「服六石」は六石の大弓に使われる矢を指しており、その他の類も同様である。「第」類は整理番号で、甲、乙、丙、丁類も同様であろう。

第三節 新資料リスト及び積文、図版について

新資料を紹介するにあたり慎重に積文作成に努めた。同時代の文字資料、木簡類を基に文字の隸定を進めたが、隸定が困難な文字も多く、隸定出来ない文字は□と表記する。また判読が危い文字の下には野線を附して表記した。積文形式は内田氏により作成された一覧を参考にし(「漢長安城未央宮出土骨簽および弩機の銘文について」『中国考古学』第十一号 二二八頁所収 二〇一一年)、No.、工官名、起年・年号、タイプ、西暦、皇帝名、行数、積文、備考の順に作成した。工官名は(南陽工官、潁川工官、河南工官)の順とした。年号は西暦で表記し、当時の皇帝名を表記した。タイプは「有紀年有年号」類をAa、「有紀年無年号」類をAbと表記した。備考は骨簽の形の特徴、欠落部分を示す。図版は骨簽の欠損箇所が少ないもの、刻が鮮明なもの二十件を掲載。図版のNoは新資料リスト及び積文のNoを指す。

【参考文献一覧】

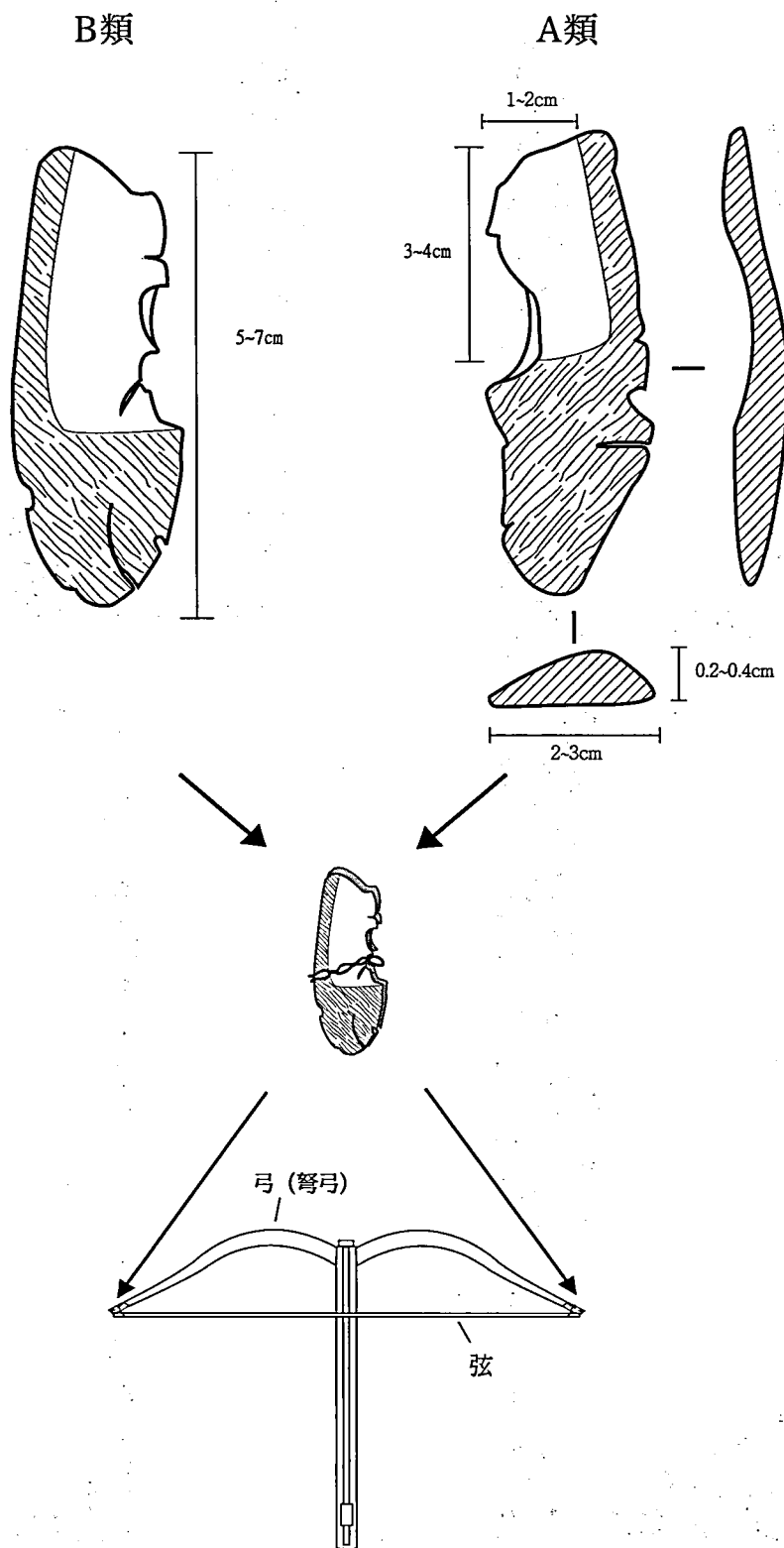
- 『考古』「漢長安城未央宮三号建築遺跡発掘簡報」科学出版社 一九八九年第一期
- 『漢長安城 骨簽書法』劉慶柱・小原俊樹 編著 木耳社 二〇〇四年
- 『中国考古学』第一〇号「漢長安城出土の骨簽に関する一考察」内田宏美 二〇一〇年

『中国考古学』第一一〇号「漢長安城未央宮出土骨簽および弩機の銘文について」内田宏美 二〇一一年

『よみがえる 漢長安 二〇〇〇年の時をこえて』読売新聞社 一九九九年

『新出土の書』謙慎書道会 二〇一八年

图
1

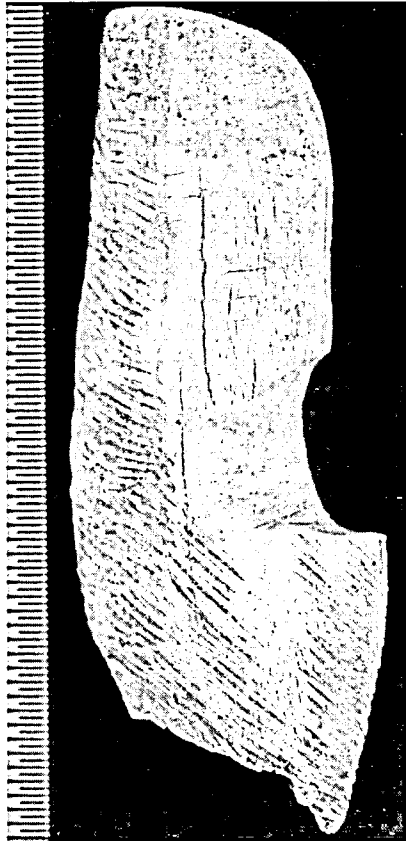




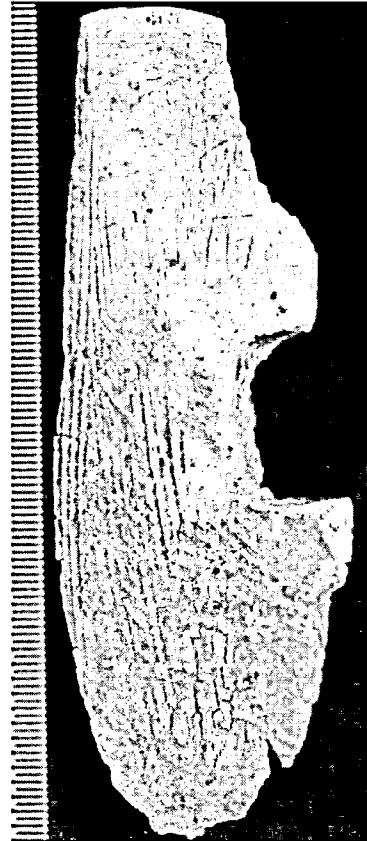
No.13



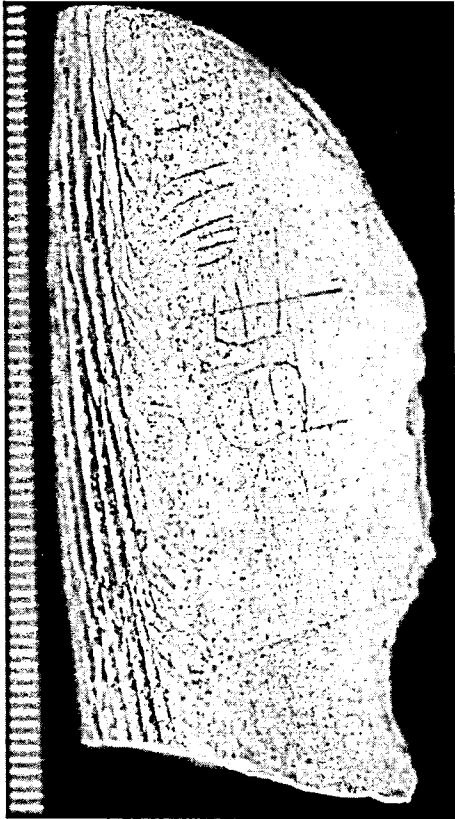
No.1



No.16



No.14



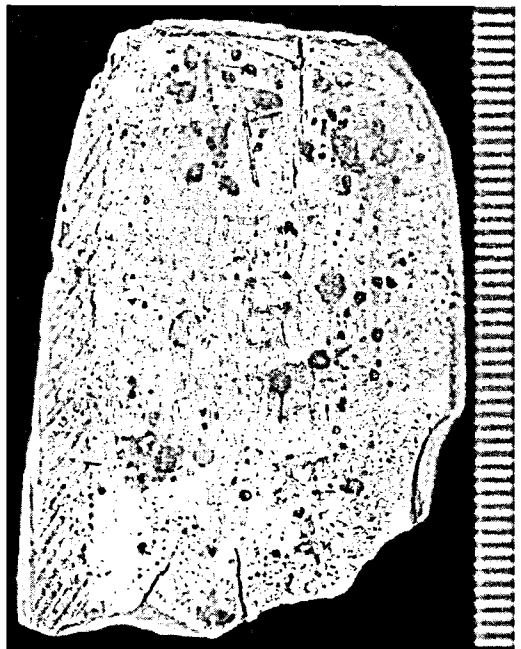
No. 86



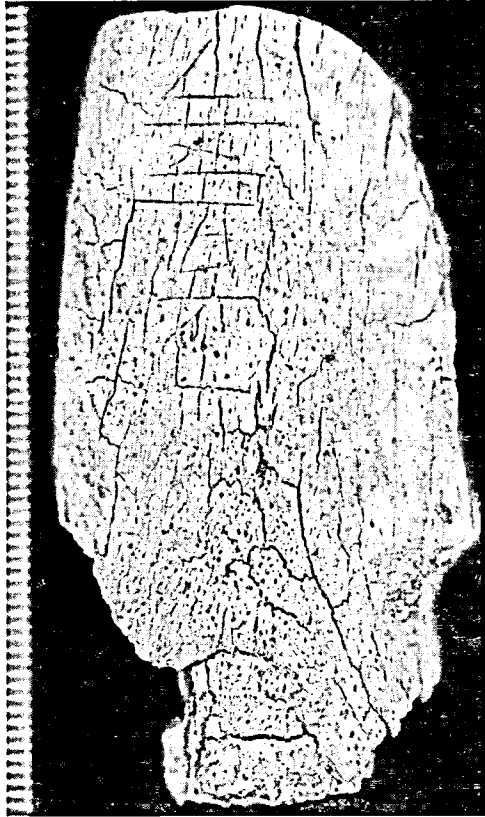
No. 63



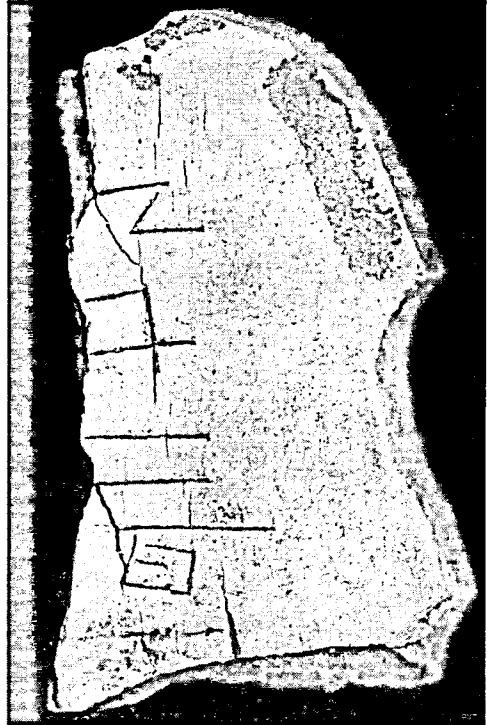
No. 99



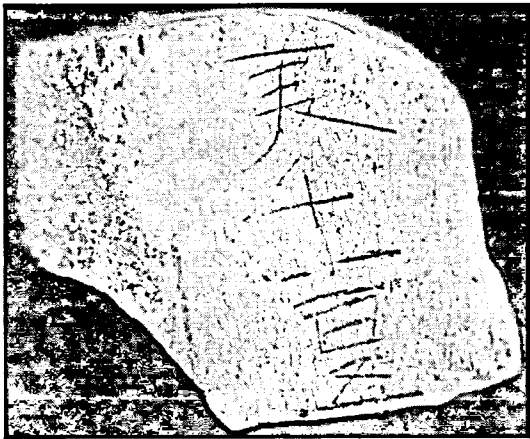
No. 91



No.110



No.108



No.142



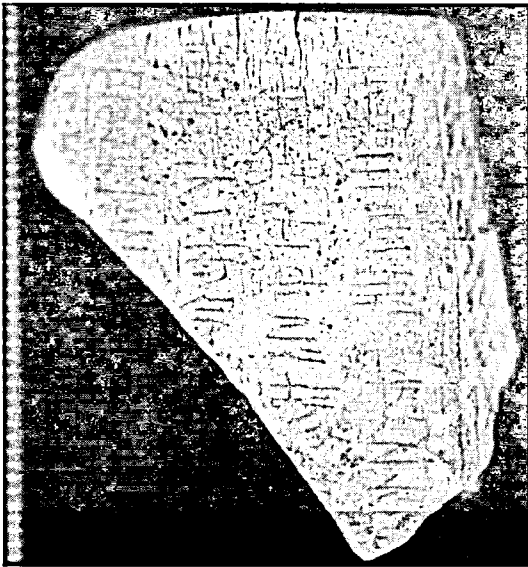
No.125



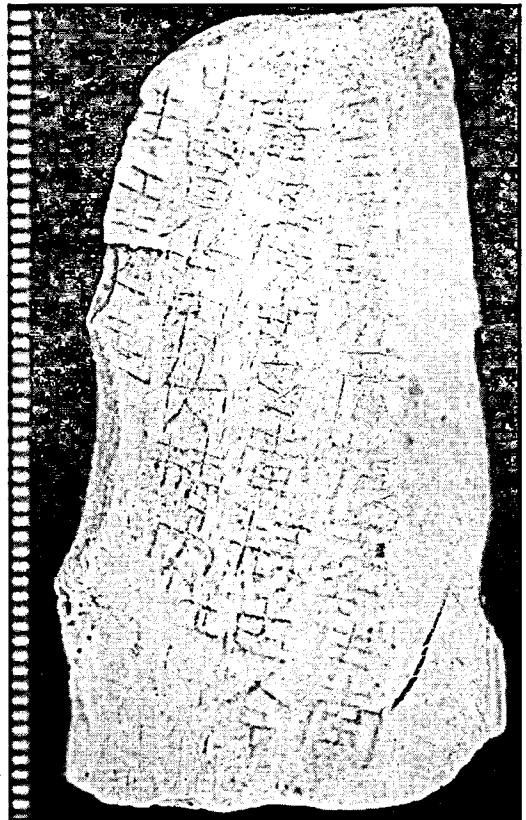
No. 281



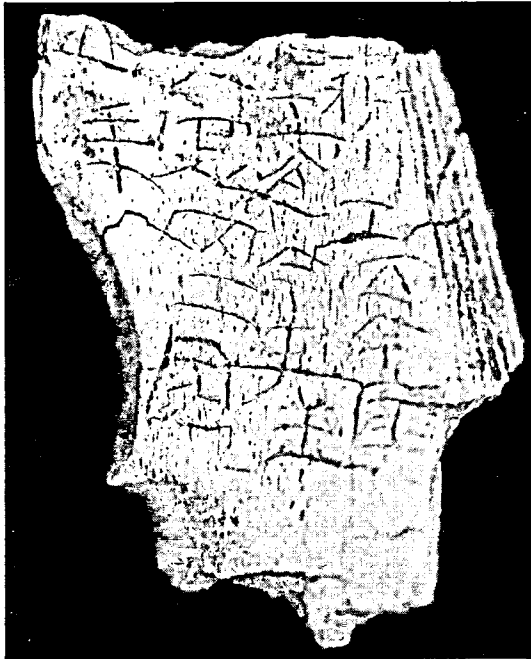
No. 264



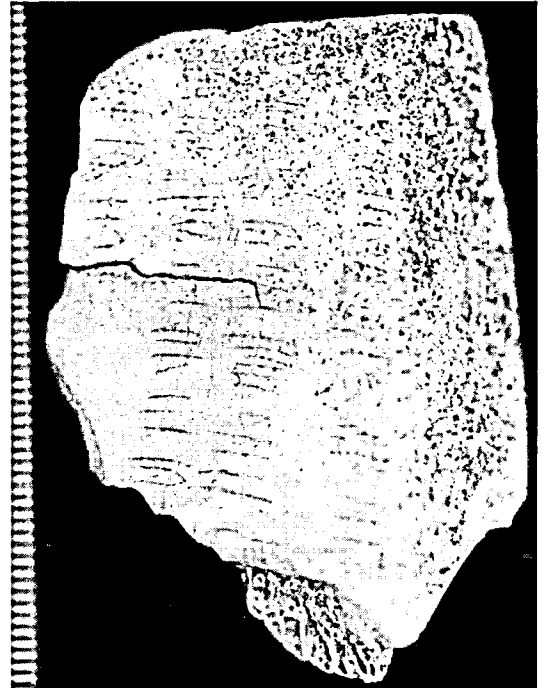
No. 296



No. 285



No.305



No.297



No.310



No.309

【新資料リスト及び積文】

No.	工官名	紀年・年号	タイプ	西暦	皇帝名	行数	文字数	積文	備考
1						1	5	服弩力八石	
2						1	5	服弩力口石	
3						1	2	服弩	下部欠損
4						1	2	服弩	下部欠損
5						1	4	服力六石	下部欠損
6						1	4	服力六石	下部欠損
7						1	3	服口石	中央～右部欠損
8						1	2	服六	下部欠損
9						1	3	服六石	上部欠損
10						1	3	力八石	
11						1	3	力八石	
12						1	3	力八石	
13						1	3	力八石	
14						1	3	力八石	右上部欠損
15						1	1	石	上部欠損
16						1	2	八石	
17						1	3	力八石	
18						1	3	力八石	
19						1	3	力八石	
20						1	3	力八石	中央～右部欠損
21						1	3	力八石	
22						1	3	力八石	
23						1	3	力八石	
24						1	3	力八石	
25						1	2	八石	
26						1	2	八石	
27						1	3	力八石	左下部欠損
28						1	2	八石	
29						1	2	力八	
30						1	2	八石	
31						1	3	力八石	
32						1	2	力口	下部欠損
33						1	3	力八石	
34						1	3	力八石	左下部欠損
35						1	2	八石	上部欠損
36						1	3	力八石	
37						1	3	力八石	上部欠損
38						1	3	力八石	
39						1	3	力八石	
40						1	2	八石	左部欠損
41						1	3	力八石	
42						1	3	力八石	上部欠損
43						1	3	力八石	下部欠損
44						1	3	力八石	
45						1	3	力八石	
46						1	2	八石	
47						1	3	力八石	
48						1	3	力八石	
49						1	3	力八石	上・下部欠損
50						1	3	力八石	
51						1	2	八石	上部欠損
52						1	3	力八石	
53						1	3	力八石	
54						1	2	八石	
55						1	2	力八	下部欠損
56						1	3	力八石	中央～左部欠損
57						1	3	力八石	中央～右部欠損
58						1	3	力八石	
59						1	3	力八石	
60						1	3	力八石	下部欠損

61						1	3	方八石	
62						2	5	口造方八石	
63						1	3	方八石	
64						1	3	方六石	
65						1	3	方六石	
66						1	2	口石	
67						1	3	方六石	下部欠損
68						1	2	八石	
69						1	3	方口石	
70						1	3	方口石	
71						1	3	方六石	
72						1	3	方口石	左下部欠損
73						1	2	六石	上部欠損
74						1	2	方六	左上・下部欠損
75						1	2	方口	下部欠損
76						2	4	方六石口	上部欠損
77						1	1	石	
78						1	1	口	
79						1	2	口石	上部欠損
80						1	1	石	
81						1	1	石	
82						1	2	口石	上部欠損
83						1	1	石	
84						1	1	方	左下部欠損
85						1	2	甲口	
86						1	5	甲二百卅四	
87						1	4	甲第卅口	
88						1	3	甲第口	下部欠損
89						1	3	甲千口	下部欠損
90						1	2	甲第	
91						1	6	甲第二百五十	
92						1	2	甲口	下部欠損
93						1	7	甲二千五百四口	下部欠損
94						1	4	甲第八十	下部欠損
95						1	4	甲五百三	
96						1	3	甲第百	
97						1	3	甲第四	
98						1	7	甲第千二百卅五	
99						1	4	甲第卅六	
100						1	2	甲第	
101						1	4	甲第三百	
102						1	4	甲口口口	中央~左部欠損
103						1	5	甲口百廿二	
104						1	7	乙一千一百廿二	
105						1	4	乙口百五	中央~右部欠損
106						1	6	乙二千百九十	下部欠損
107						1	5	乙千口口口	中央~左部欠損
108						1	5	乙千二百六	
109						1	7	乙三百八十五	
110						1	5	乙五百六十	
111						1	4	乙千口	下部欠損
112						1	5	乙二千二百	
113						1	6	丙千六百六十	
114						1	3	丙千口	
115						1	4	丙千八百	
116						1	5	丙千五百口	左下部欠損
117						1	3	丁千百	
118						1	8	丁三千一百七十四	
119						1	8	丁二千口百七十口	
120						1	5	丁八百五十	
121						1	5	丁二千一口	
122						1	4	丁三千三	下部欠損
123						1	2	丁第	
124						1	6	丁三千九百口	

125						1	8	丁二千三百九十七	
126						1	6	第千六百卅三	
127						1	6	第二千四百十	
128						2	8	第□千□□四百七	
129						1	6	第千六十三	
130						1	4	第□□□	中央～右部欠損
131						1	5	第四千七百	下部欠損
132						1	3	第二千	下部欠損
133						1	7	第二千一百一十	
134						1	5	第百八十八	下部欠損
135						1	4	第百九十	
136						1	5	第四百五十	
137						1	3	第六十	
138						1	4	第七□□	下部欠損
139						1	2	第千	
140						1	2	第□	中央～左下部欠損
141						2	6	第二千五百九	
142						1	5	第千八百五	
143						1	8	第二千□百七十七	左上・下部欠損
144						1	5	第千七百卅	
145						1	3	第三□	下部欠損
146						1	3	第二千	
147						1	4	第五百十	
148						1	6	第二千□百□	下部欠損
149						1	5	第千五百□	中央～右部に多数の横線
150						1	8	服□カ□第二千□	
151						1	7	二千一百八十七	
152						1	4	百一十四	
153						1	5	一千八十三	
154						1	4	百六十七	上部欠損
155						1	6	二千三百二□	
156						1	3	□□石	下部欠損
157						1	3	丙□千	
158						1	4	□四百九	左上・下部欠損
159						1	1	□	左部欠損
160						1	3	□百□	左部欠損
161						1	3	□十九	右部欠損
162						1	2	□□	左部欠損
163						1	2	四十	
164						1	3	二百五	
165						1	1	百	上部欠損
166						1	4	□八百三	上部欠損
167						1	4	□七十二	
168						1	3	百三□	上部欠損
169						1	3	二百□	
170						1	4	□廿十一	上部欠損
171						1	5	□三百十二	上部欠損
172						1	2	卅九	右上部欠損
173						1	5	第百七十五	上部欠損
174						1	4	十九百二	上部欠損
175						1	5	六千百□□	
176						1	2	□石	
177						1	4	百一十一	上部欠損
178						1	2	百二	
179						1	3	一百二	
180						1	3	□□□	
181						1	3	八十二	上部欠損
182						1	3	千十六	
183						2	6	百卅一 十二□	
184						1	3	百□十	
185						1	3	□百甲	
186						1	3	□二千	

187						2	7	□千一百 一一	
188						1	4	百七十三	中央～左部欠損
189						2	3	□十 □	上部欠損
190						1	3	八十八	中央～右部欠損
191						1	3	□十一	上部欠損
192						1	4	百九十八	上部欠損
193						1	3	□一□	
194						1	3	□百廿	上部欠損
195						1	3	千五百	
196						1	3	千□□	上部欠損
197						2	5	二十 四百□	上・下部欠損
198						1	4	百八十二	上部欠損
199						2	5	□□ □三百	上・下部欠損
200						1	4	七□□□	上部欠損
201						1	4	六百五十	左部欠損
202						1	4	三百八□	下部欠損
203						2	4	十三 五百	上部欠損
204						2	6	□□百 八十五	左部欠損
205						1	5	四百六十三	
206						1	2	□二	上部欠損
207						1	4	□百七十	左部欠損
208						1	2	力八	上部欠損
209						1	4	□九二二	右部欠損
210						1	4	□四千二	右上部欠損
211						1	3	四千一	
212						1	3	□□百	
213						1	3	□二□	
214						1	2	□□	
215						1	1	□	
216						1	2	□緇	
217								文字なし	
218								文字なし	
219								文字なし	
220								文字なし	
221								文字なし	
222								文字なし	
223								文字なし	
224								文字なし	
225								文字なし	
226								文字なし	
227								文字なし	
228								文字なし	
229								文字なし	
230								文字なし	
231								文字なし	
232								文字なし	
233								文字なし	
234								文字なし	
235	南陽	太始年	Aa		武帝	2	8	太始年南陽□横□	下部欠損
236	南陽	征和元年	Aa	前 92	武帝	3	15	征和元年南陽工官令 □作府齋夫 □	下部欠損
237	南陽		Ab			3	20	元年南陽工官令□守 作府齋夫 夫工安□工甘造	
238	南陽	始元二年	Aa	前 85	昭帝	3	20	始元二年南陽工官令捐丞同 令史□作府齋 □□	左部欠損

239	南陽	始元三年	Aa	前 84	昭帝	3	12	始元三年南陽護工 □王 □造	右下部欠損
240	南陽	始元年	Aa		昭帝	4	16	始元年南陽工官 守令捐丞□ □作府 □	下部欠損
241	南陽	始元三年	Aa	前 84	昭帝	4	16	始元三年南陽工 工卒史□令 猜都□ □	
242	南陽	始元年	Aa		昭帝	2	16	始元年南陽工官令掾 作府畜夫德□掾	
243	南陽	始元元年	Aa	前 86	昭帝	4	36	始元元年南陽工官令□ □護工卒史□令史廣作 府畜夫猜郁佐母直□ 畜夫工□尹造乙	
244	南陽					1	10	始元□南陽工官護工卒	下部欠損
245	南陽	始元二年	Aa	前 85	昭帝	2	19	始元二年南陽工官護工卒史 掾□□令史□造	
246	南陽					3	15	始元四年南陽工官 令捐丞寿 □□造	左下部欠損
247	南陽	元鳳三年	Aa	前 78	昭帝	4	32	元鳳三年南陽工官 賢□□令丞廣□□□ 作府畜□□□冗 工次光工□湯造丙	右下部欠損
248	南陽	元鳳二年	Aa	前 79	昭帝	3	27	元鳳二年南陽工官護工史 □令充国丞郎令史宜作 □□□□□	右下部欠損
249	南陽	本始三年	Aa	前 71	宣帝	3	30	本始三年南陽工官令 田守丞官居令昌 冗工□廣種工府造	左部欠損
250	南陽	本始三年	Aa	前 71	宣帝	3	19	本始三年南陽工官 捐丞寿令史□ 冗工昌工□	下部欠損
251	南陽	地節四年	Aa	前 66	宣帝	4	25	地節四年南陽護工 寿工官令工□□ 府畜夫□佐相 □工宗造	下部欠損
252	南陽	元康二年	Aa	前 64	宣帝	2	15	元康二年南陽護 工官令□丞□令史	中央～左部欠損
253	南陽	神爵元年	Aa	前 61	宣帝	1	8	神爵元年南陽工官	
254	南陽	初三	Aa			4	25	初三年南陽工官護工 令掾丞訴令史堯作府 畜冗工衛工□ 造	左部欠損
255	南陽	初元年	Aa			3	24	初元年南陽作工官□畜夫□ 五□□□令丞史□ □□力作	下部・左上部欠損
256	南陽	五鳳二年	Aa	前 57	宣帝	3	39	五鳳二年南陽工官護工令史惡守令 充国丞訴令史定作府畜□□ 佐詔温冗工佛工建□造甲	
257	南陽	五鳳二年	Aa	前 56	宣帝	4	33	五鳳二年南陽護工卒 史□工官令□□令□守令 作府畜夫黃佐成冗工甘 □工相夫造	
258	南陽	甘露三年	Aa	前 51	宣帝	3	35	甘露三年河南工官長冗工寿秋令 畜夫工昌造守丞遣□丞□甘令 央甲□丞□□令	
259	南陽	甘露元年	Aa	前 53	宣帝	2	18	甘露元年南陽守護工卒 寿□令□佐賢□□	下部・中央～左部欠損
260	南陽		Ab			3	17	□□□五年南陽工 丞□□作府 冗工□□	下部欠損
261	南陽		Ab			3	19	□□三年南陽護工 作府畜夫□冗工□ 昌造	左部欠損

262	南陽		Ab			3	21	五年南陽工官令 □守丞□作府畜夫 征冗工次造甲	
263	南陽					3	22	□年南陽工官護工卒史□令捐令 □令丞□府畜夫□ 工□工造甲	
264	南陽					5	24	陽工官護工卒史 丞福力□令 □府畜夫□ □□工□ 造甲	
265	南陽					3	17	□□年南陽工官令 捐守丞□□次□ 造甲	
266	南陽					1	2	陽護	上部欠損
267	南陽					2	12	南陽護工卒史□ 都寿宴案值	右部欠損
268	南陽					3	24	南陽護工卒史寿工 丞年令史直作府畜夫 □寿□工廣□□	左部欠損
269	南陽					5	35	□南陽工官護工卒史 寿工官令周丞史□ □□作府守畜夫遣 佐□冗工□工繼 孝造甲	
270	南陽					4	13	陽護工卒史 令丞萬 作府畜 昌造	上部欠損
271	南陽					3	11	南陽工官 令□□ □□□□	
272	南陽					3	17	陽工官令捐丞穿 □作府畜夫 □膾□造乙	上部欠損
273	南陽					4	10	南陽 □□□ □作畜冗 □	左部欠損
274	南陽					3	10	南陽工官 丞訴□ 畜□造	上下部欠損
275	南陽					4	22	□□南陽護工卒 工令□□□ 工作府畜夫 冗工廣造乙	
276	南陽					3	13	陽工□□ 南陽□造 □護工卒史	右上部欠損
277	南陽					1	9	南陽工官護工卒史□	上下部欠損
278	南陽					3	18	南陽工官護工 捐丞□□□□ 畜夫□造	右部欠損
279	南陽					3	7	年南陽 令捐 守□	上下部欠損
280	潁川	始元年	Aa		昭帝	2	12	始元年潁川工官 護工□作府	右部欠損
281	潁川	始元年	Aa		昭帝	3	13	始元年潁川工 守丞聖護 佐奉□	下部欠損
282	潁川	始元二年	Aa	前 85	昭帝	3	25	始元二年潁川工官□ □江令史令丞作府 □冗工□工腸造	右部欠損
283	潁川	始元二年	Aa	前 85	昭帝	3	20	始元二年潁川工官 聖護工卒令丞 □□令□□工	左上部欠損

284	穎川	始元三年	Aa	前 84	昭帝	4	28	始元三年穎川工官護 令買百丞遂成□ 中□走令史□ 冗工□工□造	下部欠損
285	穎川	始元三年	Aa	前 84	昭帝	4	35	始元三年穎川工官護工卒史□ 令廣丞成守丞當掾□令 史賢作府伏猜冗工 □工□造	左部欠損
286	穎川	始元三年	Aa	前 84	昭帝	4	20	始元三年穎川 安令庶丞□ 令史賢作府 冗工□造	中央～左部欠損
287	穎川	始元三年	Aa	前 84	昭帝	2	19	始元三年穎川工官護 丞成甲□守□	
288	穎川	始元三年	Aa	前 84	昭帝	4	17	始元三年穎川工 令廣□□ 競□冗 工□造	下部・左部欠損
289	穎川	始元四年	Aa	前 83	昭帝	3	13	始元四年穎川 □守令□□ □□	下部・左部欠損
290	穎川	始元四年	Aa	前 83	昭帝	2	11	始元四年穎川工 □□□甘	左部欠損
291	穎川	始元四年	Aa	前 83	昭帝	4	35	始元四年穎川工官護工卒史 □□令丞□掾昌作府畜 佐聖□佐□冗工待□右 工喜造	
292	穎川	始元六年	Aa	前 81	昭帝	4	29	始元六年穎川工官護 令□守丞□□思得乙□ □□佐□□□ □工□造	
293	穎川	元鳳三年	Aa	前 78	昭帝	3	24	元鳳三年穎川護工卒史 丞聖掾宜令史賢作府畜夫 寫造甲	
294	穎川	地節二年	Aa	前 68	宣帝	2	13	地節二年穎川工官令 畜夫□□	中央～左部欠損
295	穎川	五鳳二年	Aa	前 56	宣帝	3	23	五鳳二年穎川護工卒史造 明右丞郤陽守丞廣 陽伊□吏	
296	穎川	五鳳三年	Aa	前 55	宣帝	4	26	五鳳三年穎川護工卒史 官令然丞母忌掾 畜夫畜光守令 □冗□	
297	穎川	五鳳三年	Aa	前 55	宣帝	4	28	五鳳三年穎川護工卒 守令□守丞廣丞□□ 畜夫□□令史丙 工安造	下部欠損
298	穎川	元三年	Aa			3	22	元三年穎川工官護 令史武作府畜夫實夜 所工□□造	下部欠損
299	穎川	元年	Ab			3	13	元年穎川工官令 聖護工充作 造	上下部欠損
300	穎川	三年	Ab			4	21	三年穎川工官 護工遂成守 賢作府佐□ □冗工昨乙	上下部欠損
301	穎川					2	6	穎川工官 □令	
302	穎川					3	11	年穎川工官 福作府 □□造	上下部欠損
303	穎川					3	10	穎川護工 史湯掾喜 肩造	上下部欠損
304	穎川					3	12	穎川護工卒史 □令作府 史□	上部欠損

305	穎川					4	18	穎川工官令 □工官令史走 □冗工□ □造	上部欠損
306	穎川					3	16	穎川護工卒史 丞福掾令□ 史走冗工□	下部欠損
307	穎川					3	7	年穎川 □賢賢 造	上下部欠損
308	穎川					2	7	川工官護 □遂成	左部欠損
309	河南					3	22	元河南工官守令它丞福□ □直作府畜夫□樂 美造	上部欠損
310	河南	元三年	Ab			4	29	元三年河南工官令萬歲丞□ 護工卒史堯令史成作府畜 冗工歲冗工樂造	
311	河南	始元四年	Aa	前 83	昭帝	3	31	始元四年河南工官守令石丞 護工卒史□令史甘作府畜夫 佐無□□工長造	右下部欠損
312	河南	地節三年	Aa	前 67	宣帝	3	19	地節三年河南 □護工卒史□□ 冗工□畜夫□	下部欠損
313	河南	地節三年	Aa	前 67	宣帝	3	23	地節三年河南工官□□ 黃丞掾令丞成作府 廣□令工□	下部欠損
314	河南	元康二年	Aa	前 64	宣帝	3	29	元康二年河南護工卒史□ 二令丞應肖令史中作府畜 冗工展工□□造	左部欠損
315	河南	五鳳元年	Aa	前 57	宣帝	3	33	五鳳元年河南護工卒史□工官 建丞掾相令史富賢畜夫世佐世 冗工寿工常造	
316	河南	五鳳元年	Aa	前 57	宣帝	3	17	五鳳二年河南工官 護工卒史□ □冗昌棣	下部欠損
317	河南	五鳳三年	Aa	前 55	宣帝	3	35	五鳳三年河南工官工愛冗工□佐勝 畜夫地造令史廣掾相丞充 令忘護工卒史□□主	
318	河南	甘露二年	Aa	前 52	宣帝	3	23	甘露二年河南工官亦 府畜夫尊造府□ 守令湯護工卒史	下部欠損
319	河南		Ab			4	23	二年河南工官 護工卒史□令丞□ □充□□冗工□ □造	下部欠損
320	河南		Ab			1	5	二年河南工	下部欠損
321	河南		Ab			3	17	二年河南工官守令 工卒史直作府畜 □□	左部・下部欠損
322	河南		Ab			2	12	四年河南工官 □□□□□□	中央～左部欠損
323	河南					3	11	南工官 卒史府書 □工昌造	上部欠損
324	河南					3	17	河南護工卒史德工官 作府畜夫□作 乙造	上部欠損
325	河南					4	20	河南護工卒史□ 廣丞□□丞 賢作府 工佐工□造	上部欠損
326	河南					4	26	河南 工卒史直作府畜夫 聖樂成地伏萬冗工 工□工□造	右上部欠損
327		征和元年	Aa	前 92	武帝	1	6	征和元年□□	

328		征和元年	Aa	前 92	武帝	3	6	征和元年 □□	下部欠損
329		始元	Aa		昭帝	2	8	始元 冗工□工造甲	
330		始元四	Aa	前 83	昭帝	3	7	始元四 史部 □□	下部欠損
331		元鳳二年	Aa	前 79	昭帝	4	12	元鳳二年 尹忠丞□ 史孝 冗工	下部欠損
332		元康元年	Aa	前 65	宣帝	5	22	元康元年 刀□□令丞 史當世作府齋 □冗工昌 工□造	下部欠損
333			Ab			2	11	二年□□□ 卒史于預令丞	左部欠損
334						1	2	□官	
335						2	6	廣□工□ □造	上部欠損
336						4	16	工卒史□ 守史□作府 □守齋冗工 □造	上部欠損
337						2	9	護工卒史□ □冗工□	上下部欠損
338						3	7	□□ □聖□ □□	上下部欠損
339						3	12	康四年丞□ 護工卒史 □□二	上下部欠損
340						1	2	□□	
341						1	2	□工	下部欠損
342						1	3	□□□	
343						3	8	□□□ □冗工□ 造	上部欠損
344						3	12	□護工卒史 都作府齋 工昌富	上部欠損
345						3	11	令□秦 周作府齋 □冗工昌	
346						2	3	□護 朱	上部欠損
347						2	5	卒史□ □□	上下部欠損
348						3	11	官令廣令 工□工□作府齋 官之工得造	上下部欠損
349						2	9	齋夫則為佐賜 工有造	上部欠損
350						3	12	□□百□ 令昌□□ 安工□造	上部欠損
351						3	8	工卒史 令史 工□造	上部欠損
352						4	14	咸丞彊□作府齋夫丞□□冗工造	上部欠損
353						3	19	工卒史平 時福□作府□夫 冗忠□冗工充工甘	下部欠損
354						2	11	令史賜尚護工 作府齋夫□	中央～左部欠損

355					3	7	令廣守 府史奉 造	上部欠損
356					2	7	齋夫晏成 工親造	
357					3	13	護工卒史中 廣令史口作 口工造	上部欠損
358					1	4	忠護工卒	
359					2	12	官護工卒史口 口國作府齋夫	上部欠損
360					3	10	齋夫口工口 史口工口 造	上部欠損
361					3	8	口口口 孝佐冗 口造	上部欠損
362					4	11	工卒史建 令史護 口廣福 口	上下部欠損
363					3	12	作府齋夫史 口工賢工字 口口	左部欠損
364					3	7	口丞直 自作府 口	下部欠損
365					3	6	卒史口 口口 口	上部欠損
366					4	11	護工卒史 令史口 冗工直 丙	上部欠損
367					2	9	夫蜀成冗工賢 工口造	上部欠損
368					3	14	守令若秦 寒作府齋夫 工充國強工	上部欠損
369					3	9	工官令損守 齋夫令冗 口	左部欠損
370					3	6	口口 口佐奉 造	上部欠損
371					4	12	官護工卒 口口令史 口羊冗 甲	上部欠損
372					3	10	史青口 作府齋夫 微史造	上部欠損
373					1	2	春口	上部欠損
374					3	7	工口口 昌掾 佐強	上部欠損
375					3	9	官令廣 作府令 口工造	上部欠損
376					3	9	口作府齋夫 口口造 甲	上部欠損
377					2	3	世作 造	上部欠損
378					3	8	令 賢作府 工成口造	上部欠損

379						2	11	護工卒史□有工 □□□昌	左部欠損
380						2	4	守令若秦 安世作府	左部欠損
381						1	5	□工□□造	上部欠損
382						1	2	護工	上部欠損
383						2	6	工卒史 工掾廣	下部欠損
384						3	17	工官護工卒史□ 作府守齋夫□ 喜造甲	上部欠損
385						2	8	□□掾作府 史廣□	上下部欠損
386						2	10	□□護工卒史 工卒建造	上下部欠損
387						3	9	□□ 作府齋夫 冗工□	上下部欠損
388						3	10	護工卒史 □□猜 工□造	
389						3	10	工官令庶 令史走作 春造	上部欠損
390						2	8	工卒史壽令 □□□	
391						3	8	工卒史 府吉□ 造乙	上部欠損
392						2	5	廣守 府佐□	上部欠損
393								文字なし	
394								文字なし	
395								文字なし	
396								文字なし	
397								文字なし	
398								文字なし	
399								文字なし	
400								文字なし	
401								文字なし	
402								文字なし	